

清泉・多摩辺・福島中エリア別ミーティング開催

地域の課題を行政と話し合う場「エリア別ミーティング」が、今年度は次の3中学校エリアで開催されました。行政側は市長、副市長、教育長、課題担当の部課長が、自治会側は自治連三役、課題を提出したブロック長、自治会長が出席しました。以下に地域の課題とそれに対する行政側の回答の要旨をお知らせします。地域課題のご提案は、ブロック長か自治会長にお伝えください。

■7/6清泉中エリア別ミーティング

1. ゴミのポイ捨て対策 ▶ 広報や市のイベントをとおして不法投棄防止の意識強化徹底を図る
2. JR青梅線中神駅東側踏切存続危惧
▶ 市は踏切を閉鎖するとの認識はない
3. 多摩川の堤防上通路の安全対策
▶ 自転車利用者への注意喚起看板を設置できるものか河川管理者と調整する
4. 諏訪松中通り（レナウン街道）渋滞対策
▶ 渋滞緩和対策を関係機関と協議する
5. JR八高線の上川原三丁目梨木踏切の今後
▶ 引き続き関係機関と協議する
6. 中神駅前南口西側線路沿いに防犯カメラ設置
▶ 中神駅自由通路の東西の階段のカメラで駅前交差点を含め見守っている
7. 自治会防災備品等の保管場所確保の要請
▶ 学校や公園に設置することは困難であるので補助金の活用を検討してほしい
8. 自治会活動の財政的援助 ▶ 補助金増額は困難であるが今後も自治会活動に対する効果的な補助事業を実施できないか検討する

今後調整する。鍵はいずれの施設も市の災害対策本部が必要に応じて開設する避難所であるため事前に鍵を渡すことは考えていない

4. 多摩川遊歩道・サイクリングロードの安全対策及び道路環境整備 ▶ 安全対策は前掲 道路環境整備については堤防築堤工事の際は歩行者・自転車の分離通行を図るよう河川管理者に働きかける
5. 大神町四丁目・田中町二丁目（一部）・三丁目・四丁目地域に市立会館の建設を希望 ▶ 市立会館建設計画は武蔵野会館開設で完了した。今後は現在策定中の公共施設等総合管理計画のなかで市全域の公共施設について検討する



■7/13多摩辺中エリア別ミーティング

1. 拝島公園プール廃止後の敷地利用計画
▶ 現時点では未定。具体的な計画は地元の皆さまの意見を伺いながら進める
2. 市立拝島第四小学校統合後の利用計画 ▶ 同上
3. 都営拝島町三丁目アパートに防災倉庫の設置及びやまのかみ会館、拝島町高齢者福祉センターの鍵 ▶ 防災倉庫は都や関係部署と協議が必要、

■7/20福島中エリア別ミーティング

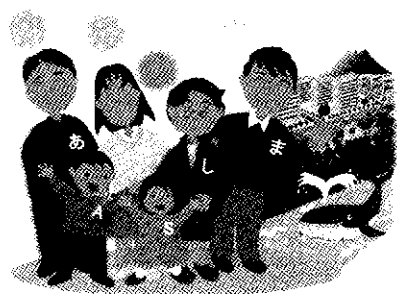
1. 災害時要援護者リスト ▶ 本人、家族の申請で作成し防災関係機関に周知。先ず自らの命を守る行動をとり登録者に可能な支援をお願いしたい
2. 夏祭りの道路許可申請費
▶ 現状は、地域の夏祭りの減免はできない
3. 昭島団地自治会の「滝ノ下通り」の防犯と不法投棄の問題 ▶ 器具不良となった街路灯については、LED化を図り通りを明るくする
4. 玉川自治会地域の雨水溢水問題
▶ クリーンセンター跡地に大型雨水浸透施設設置を計画している
5. 福島町3丁目付近多摩川堤防道路に街灯がなく夜間暗く危険 ▶ どのような対応が可能か河川管理者及び周辺自治体と協議する

以上

～「自治会活動」紹介～

ブロックや単一自治会の活動状況や成功事例、運動会の模様などを写真とともに投稿いただいた内容をご紹介します。

現在、昭島には99の自治会が“地域住民が快適に生活できるように活動しています。

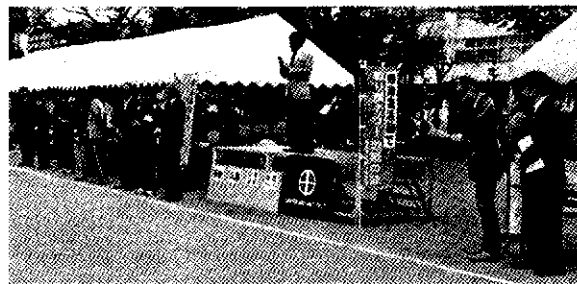
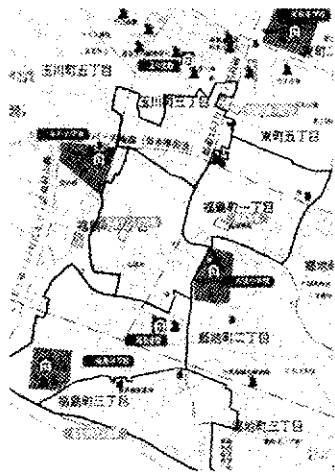


第2ブロック 福島第一自治会～福島第五自治会

市防災課指導により自治連第2ブロック(福島連合自治会)の「防災マニュアル」が平成28年2月完成しました。これを機に防災マップをもとに自治会毎に“防災街歩き”を実施しました。

そこで①一時集合場所・一時避難所・避難所それぞれの場所と経路
②消火器・消火栓・防火水槽・救助道具倉庫・AED・公衆電話機などの設置場所
③急傾斜地など危険個所の有無等を確認しました。

当日参加されなかった皆さまから、これら防災施設や防災設備の場所が分からないとの話をよくお聞きします。地域のすべてのご家庭にお届けしてありますマニュアルを是非いま一度ご確認ください。



第3ブロック 八清親和会

10月30日(日)第50回第3ブロック運動会が、開会式に白井伸介新市長をお迎えして行われました。八清親和会の自治会活動の活性化と、行事参加率向上の取り組み3ケ年目を迎えた昨年は、153名と過去最高の参加者でした。

今回は従来の競技種目から、3つの競技を入替え行いました。その1つが「宅配便競走」です。小学生の低学年走者が、途中にある集配場で、「配達票」と「受取票」の付いた空ダンボールの宅配物を取り、宅配物に書かれた本部近くの受取人を探し、宅配物を渡して「受取票」にサインをもらいゴールする競技です。この競技のポイントは、小さい宅配物で速い走者が速くゴールできるものではなく、小・中宅配物と、受取人の探し出し、フルネームで

書く受取人サインの速さなどが工夫されて、面白い競技になりました。

八清地域の「安全」「安心」、そして「住んで良かった町」を目指し、自主的に始めた月2回(第1・第3土曜日、午後9時～10時)の青年部防災パトロールも、今年で10年を迎えました。八清地域全域を隅々まで回ると、歩行距離4.5キロになります。これを毎回1時間かけて回り防災活動を行っています。

これからも地域の皆様の『ご苦労さま』の感謝の言葉に支えられ続けていきます。

